

■米国：ニューヨーク州、電力貯蔵に関する新たな包括的ロードマップを公表

ニューヨーク州知事のアンドリュー・クオモ氏は2018年6月21日、電力貯蔵に関する新たな包括的ロードマップを公表した。同州の電力貯蔵の導入目標を、2025年までに150万kWとした。本目標を達成することで、20億ドルの利益が同州居住者にもたらされ、また新たに3万人の雇用が創出されるとした。同氏は「クリーンエネルギーは地球の未来であり、ニューヨークは気候変動と闘うために、本技術に関して我が国を先導し、次世代に資源を残す」とした。